



平成25年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年9月25日

上場取引所 東

上場会社名 日本オラクル株式会社

コード番号 4716 URL <http://www.oracle.com/jp/corporate/investor-relations/index.html>

代表者 (役職名) 代表執行役 社長 最高経営責任者 (氏名) 遠藤 隆雄

問合せ先責任者 (役職名) 執行役 副社長 最高財務責任者 (氏名) 野坂 茂

TEL 03-6834-6666

四半期報告書提出予定日 平成24年10月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年5月期第1四半期の業績(平成24年6月1日～平成24年8月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年5月期第1四半期	36,121	10.5	9,803	9.1	9,804	9.1	5,972	13.1
24年5月期第1四半期	32,694	9.9	8,984	18.3	8,984	17.2	5,280	16.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年5月期第1四半期	47.00	46.99
24年5月期第1四半期	41.55	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年5月期第1四半期	107,014	56,886	52.3	440.21
24年5月期	111,493	60,438	53.4	468.20

(参考) 自己資本 25年5月期第1四半期 55,947百万円 24年5月期 59,504百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年5月期	—	0.00	—	75.00	75.00
25年5月期	—	—	—	—	—
25年5月期(予想)	—	0.00	—	87.00	87.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年5月期の業績予想(平成24年6月1日～平成25年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	164,400	15.0	44,600	10.3	44,700	10.4	27,500	16.0	216.38

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年5月期1Q	127,097,471 株	24年5月期	127,097,471 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

25年5月期1Q	5,235 株	24年5月期	5,085 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年5月期1Q	127,092,340 株	24年5月期1Q	127,092,511 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日において当社が入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づき策定したものであり、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P4「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(その他)に関する事項	5
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期財務諸表	6
(1) 四半期貸借対照表	6
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

① 業績の概要

当第1四半期累計期間（自 平成24年6月1日 至 平成24年8月31日。以下、「当四半期」）の売上高は36,121百万円（前年同期比10.5%増）、営業利益は9,803百万円（前年同期比9.1%増）、経常利益は9,804百万円（前年同期比9.1%増）、四半期純利益は5,972百万円（前年同期比13.1%増）と、第1四半期累計期間としては売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益とも過去最高となりました。

当四半期における日本国内の経済環境は、一部に弱い動きが見られるものの、復興需要等を背景とした企業活動の持ち直しに伴うIT投資も徐々に増加してきております。

② 報告セグメント別の状況

[ソフトウェア・ライセンス]

売上高は9,296百万円（前年同期比17.8%増）となりました。

当セグメントは企業等のIT基盤に利用されるソフトウェアの新規ライセンスを販売しており、データベース管理ソフトウェアおよび高い信頼性と拡張性のあるIT基盤を実現する各種ミドルウェア製品の新規ライセンスを販売する「データベース&ミドルウェア」、ERP等の業務アプリケーションの新規ライセンスを販売する「アプリケーションズ」から構成されます。

データベース&ミドルウェアの売上高は8,117百万円（前年同期比10.6%増）となりました。

データベース、ミドルウェアとも、お客様の事業活動を支えるIT基盤に必要な製品として、クラウドやビッグデータの利活用環境の構築等、多くのお客様で採用が進みました。また、ソフトウェアとハードウェアをあらかじめ統合して提供する「Oracle Exadata」等のエンジニアド・システム製品群の拡販を継続してまいりました。

平成24年7月には、エンジニアド・システム「Oracle Exalogic Elastic Cloud」のハードウェア性能を高め、ミドルウェアを高速処理するソフトウェア新製品「Oracle Exalogic Elastic Cloud Software 2.0」を、業務改善の試験的プロジェクトや部門単位での展開に最適なビジネス・プロセス管理のエントリ製品「Oracle Business Process Management Standard Edition」を提供開始いたしました。

アプリケーションズの売上高は1,179百万円（前年同期比113.3%増）となりました。

製品やサービスの購入や利用の過程において顧客が経験する価値である「カスタマー・エクスペリエンス」を向上させる製品群やCRM製品群が好調に推移いたしました。

[アップデート&プロダクト・サポート]

売上高は16,766百万円（前年同期比4.4%増）となりました。

当セグメントは、ソフトウェア・ライセンスを利用されているお客様に更新版等のアップデートや技術サポートを提供しております。

お客様の導入製品や利用環境に応じたプロアクティブ（事前対処的）かつプリベンティブ（予防的）なサポートを提供する「My Oracle Support」等、サポートの価値訴求の推進を継続して実施すると共に、パートナーとの協業を推進し、新規に販売された製品に対するサポートの装着率や既存サポート契約の更新率の維持向上を目指した施策を進めてまいりました。

[ハードウェア・システムズ]

売上高は5,907百万円（前年同期比18.0%増）となりました。

当セグメントは、サーバー、ストレージ、エンジニアド・システムのハードウェアの販売およびそれらのオペレーティングシステム（OS）や関連ソフトウェアを提供する「ハードウェア・システムズ・プロダクト」、ハードウェア製品の技術サポート、修理、メンテナンスの提供およびOS等関連ソフトウェアの更新版等の提供を行う「ハードウェア・システムズ・サポート」から構成されます。

ハードウェア・システムズ・プロダクトの売上高は3,392百万円（前年同期比26.3%増）となりました。Exadata等のエンジニアド・システムの販売が好調に推移いたしました。平成24年6月には、Exadataに最適化し、高速なデータ・バックアップと復元を実現するストレージ製品「Sun ZFS Backup Appliance」を、同8月にはテープ・ライブラリ製品「StorageTek SL150 Modular Tape Library」の提供を開始いたしました。また、当社の販売パートナーである日本電気株式会社様による、Exadataの一次保守サービスおよびSI支援サービスの提供が8月から開始されました。

ハードウェア・システムズ・サポートの売上高は2,514百万円（前年同期比8.4%増）となりました。ハードウェア製品に対するサポート装着率の向上や既存のお客様からの更新契約の確保により、堅調に推移いたしました。

[サービス]

売上高は4,150百万円（前年同期比11.0%増）となりました。

当セグメントは、予防保守サービスやマネージドクラウド型サービス等の高付加価値サービスを提供する「クラウドサービス」、技術者や利用者向けの研修事業や技術資格の認定事業を提供する「エデュケーションサービス」、当社製品の導入支援を行う「コンサルティングサービス」から構成されております。

当期、クラウドサービスでは、予防保守サービス「アドバンスト・カスタマー・サポート・サービス」がOracle Exadata向けサービスを中心に好調に推移いたしました。また、コンサルティングサービスでは、データベース&ミドルウェアおよびアプリケーションのコンサルティングサービスが堅調に推移いたしました。

以上により、クラウドサービスの売上高は1,071百万円（前年同期比4.2%増）、エデュケーションサービスの売上高は458百万円（前年同期比3.5%減）、コンサルティングサービスの売上高は2,620百万円（前年同期比17.2%増）となりました。

< 報告セグメント別売上高の状況 >

	平成24年5月期 第1四半期		平成25年5月期 第1四半期			平成24年5月期	
	金額 百万円	構成比 %	金額 百万円	構成比 %	対前期比 %	金額 百万円	構成比 %
データベース&ミドルウェア	7,341	22.5	8,117	22.5	10.6	37,551	26.3
アプリケーションズ	553	1.7	1,179	3.3	113.3	4,900	3.4
ソフトウェア・ライセンス	7,895	24.1	9,296	25.7	17.8	42,452	29.7
アップデート&プロダクト・サポート	16,054	49.1	16,766	46.4	4.4	64,986	45.5
ソフトウェア関連	23,949	73.3	26,063	72.2	8.8	107,439	75.2
ハードウェア・システムズ・プロダクト	2,684	8.2	3,392	9.4	26.3	11,053	7.7
ハードウェア・システムズ・サポート	2,319	7.1	2,514	7.0	8.4	9,430	6.6
ハードウェア・システムズ	5,004	15.3	5,907	16.4	18.0	20,484	14.3
クラウドサービス	1,028	3.1	1,071	3.0	4.2	4,073	2.8
エデュケーションサービス	474	1.5	458	1.3	△3.5	1,562	1.1
コンサルティングサービス	2,236	6.8	2,620	7.3	17.2	9,359	6.5
サービス	3,739	11.4	4,150	11.5	11.0	14,995	10.5
合 計	32,694	100.0	36,121	100.0	10.5	142,919	100.0

(注) 金額は単位未満を切り捨て、構成比ならびに対前年同期比は単位未満を四捨五入で表示しております。

(2) 業績予想に関する定性的情報

平成24年6月26日に発表いたしました平成25年5月期の業績予想より変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

- ・ 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成24年 5月31日)	当第1四半期会計期間 (平成24年 8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	44,488	46,011
受取手形及び売掛金	19,306	13,304
有価証券	2,005	2,005
商品及び製品	0	0
その他	2,577	2,875
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	68,375	64,195
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	14,215	13,991
土地	26,057	26,057
その他（純額）	1,067	1,001
有形固定資産合計	41,340	41,050
無形固定資産	20	16
投資その他の資産		
その他	1,766	1,755
貸倒引当金	△9	△3
投資その他の資産合計	1,757	1,751
固定資産合計	43,117	42,818
資産合計	111,493	107,014
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,470	6,896
未払金	3,384	3,396
未払法人税等	8,904	3,785
前受金	25,795	32,614
賞与引当金	1,825	1,165
その他の引当金	182	202
その他	1,401	1,975
流動負債合計	50,963	50,036
固定負債		
その他	91	91
固定負債合計	91	91
負債合計	51,054	50,127
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,301	22,301
資本剰余金	5,652	5,652
利益剰余金	31,595	28,036
自己株式	△23	△23
株主資本合計	59,526	55,966
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△22	△19
評価・換算差額等合計	△22	△19
新株予約権	934	938
純資産合計	60,438	56,886
負債純資産合計	111,493	107,014

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年8月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年8月31日)
売上高	32,694	36,121
売上原価	16,612	18,829
売上総利益	16,081	17,291
販売費及び一般管理費	7,096	7,488
営業利益	8,984	9,803
営業外収益		
受取利息	23	17
有価証券利息	1	0
その他	32	4
営業外収益合計	57	21
営業外費用		
その他	58	20
営業外費用合計	58	20
経常利益	8,984	9,804
特別利益		
新株予約権戻入益	10	24
投資有価証券売却益	4	—
特別利益合計	14	24
特別損失		
事業構造改善費用	—	170
特別損失合計	—	170
税引前四半期純利益	8,999	9,658
法人税等	3,719	3,685
四半期純利益	5,280	5,972

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項なし。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 平成23年6月1日 至 平成23年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上 額 (注) 2
	ソフトウェ ア・ライセ ンス	アップデー ト&プロダ クト・サポ ート	ハードウ ェア・シ ステムズ	サービス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	7,895	16,054	5,004	3,739	32,694	—	32,694
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	7,895	16,054	5,004	3,739	32,694	—	32,694
セグメント利益	609	8,461	323	750	10,145	△1,161	8,984

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,161百万円は、全社費用であります。主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期累計期間(自 平成24年6月1日 至 平成24年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上 額 (注) 2
	ソフトウェ ア・ライセ ンス	アップデー ト&プロダ クト・サポ ート	ハードウ ェア・シ ステムズ	サービス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,296	16,766	5,907	4,150	36,121	—	36,121
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	9,296	16,766	5,907	4,150	36,121	—	36,121
セグメント利益	936	8,810	302	928	10,977	△1,173	9,803

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,173百万円は、全社費用であります。主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。